

# 第1学年 保健体育科学習指導案

日 時 平成20年 11月20日 (木) 5 校時  
場 所 旧体育館  
生 徒 1年1・2組 女子 30名  
授 業 者 教諭 石 井 紀 恵

## 1 単元名 ダンス

## 2 単元について

### (1) 系統性

ダンスは「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムダンス」があるが、本単元についてはほとんどの生徒が未経験である。

小学校では運動会でリズム体操的な発表を行ったことや中学校入学後の運動会では地域の伝統である手踊りを発表した経験がある。しかし、決められた振り付け等で発表した経験はあっても、自分たちでテーマからイメージする事を表現したことはない。

### (2) 教材について

ダンスは個人や集団で踊り、互いに表現し交流するのが楽しい運動であり、「創作ダンス」「フォークダンス」「現代的なリズムダンス」がある。「創作ダンス」は、生活や経験などから、心に残った印象や感動（イメージ）を自由に表現して踊る楽しさがあり、「フォークダンス」は生活の中から生まれ伝承されている日本や外国の踊りを身につけ、皆と一緒に踊る楽しさがある。また、「現代的なリズムダンス」では、ロックやヒップホップ・サンバなどの、現代的で軽快なリズムにのって仲間と自由に踊る楽しさがある。生徒も知っている現代的な音楽を使用し、リズムカルにそしてテンポ良く踊ることから、生徒達の興味を引きだし、やがてはイメージにふさわしい動きを自由に表現させていきたい。そして、仲間やグループで作品をつくり、感じを込め、感動を分かち合ったりする楽しさを味わえる「創作ダンス」へと発展させていきたい。

### (3) 生徒の実態

落ち着いて慎重に取り組む生徒が多いが、やや、積極性に欠けるように見受けられる。どちらかという、運動を苦手とする生徒がやや多く、協調性の面においてもやや物足りなさを感じる。1学期間は学習規律の徹底と共に苦手意識を克服し、意欲を喚起させる指導に力を入れてきた。

新体力テストではA判定の生徒が23%、B52%、C16%、D3%、E6%という結果であった。柔軟性においては全国平均よりやや劣っているが、敏捷性においては全国平均より上回る結果となっている。

次表の意識調査のように本単元においてはほとんどの生徒が実施した経験がなく、そのことから抵抗感もあり興味関心も薄いようである。しかし、「運動することが好きか」と言う問いに対しては約8割の生徒が「好き」と答えており、身体を動かすことに対しては前向きな様子が見える。このことに着目し、自由に身体表現ができる創作ダンスの学習を通し不安や抵抗感を取りのぞかせていきたい。

【事前の意識調査結果】

1 運動することが好きですか	はい 79%      いいえ 21%
2 今までにダンスを行ったことがありますか。ある人は、いつどんな時ですか。	ある 28% 【 運動会 習い事、宿泊学習 (小学校) 】 ない 72%
3 あなたは踊ることが好きですか。	好き ・      どちらかといえば ・      あまり興味が ・      ない 3%                  好き                  ない                  14% 21%                  62%
4 人前で踊ることに恥ずかしさを感じますか	ある ・      どちらかといえば ・      あまり感じ ・      ない 10%                  ある                  ない                  17%                  7% 66%
5 ダンスに興味がありますか	ある ・      どちらかといえば ・      あまり興味が ・      ない 0%                  ある                  ない                  10% 28%                  62%
6 「ダンス」というと何をイメージしますか	イメージした人79% 【 激しく踊る、大変、明るく元気、かっこいい、リズム感、 社交ダンス、フォークダンス、創作ダンス、タンゴ 】 ない (わからない) 21%
6 ダンスの授業をする上で不安なことはありますか	はい42% 【 振り付け通り踊れるか、はずかしい、動きに息をつけるか 】 ない (わからない) 58%

(4) 指導にあたって

この単元では、リズムによって動きを工夫し自由に踊ることができたり、個人や集団で自由にイメージしたものを身体を使って表現し、その表現の豊かさを仲間と共に共感できる態度を育てていきたい。

ほとんどの生徒がダンスの未経験者でどのように学習を深めていくか不安で恥ずかしさを抱いている(事前意識調査から)。まずはその恥ずかしいという気持ちを取り除く手だてを施さなくてはならない。

そこで、本単元の指導にあたってはまず、「恥ずかしがらずにのびのびと踊ること・表現すること」を目標とし、即興表現を繰り返しながら様々なテーマで短い動きのまとまりをつくることからはじめたい。また、仲間と協力して創作活動を行い、イメージしたことを身体表現して一つの作品を完成させ、創る喜びやすばらしさを味わわせたい。

(5) 校内研究との関わり

本校の研究課題は「自ら意欲的に学習する生徒の育成～基礎・基本の定着とそれを活用する学習課程の工夫を通して～」である。

テーマからイメージし、それを表現する即興活動を繰り返すことによって不安や恥ずかしさを取り除き、前時の復習から積み上げを通しながら、基礎・基本の定着を図る。

チーム・グループで励ましあったり、アドバイスしながら雰囲気作りやチームワークを大事にさせ、生涯にわたって運動に親しむ意識を芽生えさせ定着させていきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 指導目標

自己の能力に応じた課題を持ち、感じを込めて踊ったりイメージを自由に表現し作品をつくりすることができる。

互いの良さを認め合い、協力して練習することができる。

#### (2) 単元の評価規準

##### <関心・意欲・態度>

①仲間の良さを認め合い、協力して作品をつくりすることができる。

②楽しさや喜びを味わいながら仲間と協力して学習に取り組み、互いに良いところを認め合うことができる。

##### <思考・判断>

テーマからイメージをふくらませ動きを工夫したり、練習や発表の仕方を工夫することができる。

##### <技能>

いろいろなテーマのイメージを動きで表現したり、簡単な作品をつくって感じを込めて動くことができる。

##### <知識・理解>

発表・鑑賞の仕方を理解し発表会の企画・運営ができる。

### 4 単元の指導計画と具体的評価規準（14時間扱い）

時間	学習活動	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
1	オリエンテーション ・目標、事前の意識調査 ・特性、学習のねらい	・感じを込めて動く楽しさを味わおうとしている。	・ダンスの発表会に向け見通しを持って全体計画を立てることができる。		・イメージを自由に表現して踊るものであることがわかる。
2 ～ 4	ねらい1 ・即興を中心とした活動(ペア→グループ)	・思いっきり動く楽しさを味わおうとしている。	・言葉や音楽からイメージすることを思いつく。	・表したいイメージが伝わるように踊ることができる。	
5 ～ 12	ねらい2 ・作品の制作(グループ)	・表現をよりよくしようと協力して学習を進める。	・表現したい内容を組み立てることができる。	・ひとまとまりの流れ、イメージを強めた作品で踊ることができる。	・イメージを自由に表現して踊ることが理解できる。
13	発表	・他の発表を観察し、認め、励まそうとする。	・テーマからイメージすることを考え、動きを工夫している。	・テーマからイメージを表現したり、感じを込めて動くことができる。	・創作ダンスの特性と発表会の運営の仕方を知らることができる。

14	まとめ ・事後の意識調査	・自己の学習活動を振り返り、今後の学習に生かそうとする。	・成果と反省を確認することができる。	・学習の仕方やできばえの確かめ方を理解している。
----	-----------------	------------------------------	--------------------	--------------------------

## 5 本時について

### (1) 本時の目標

＜関心・意欲・態度＞

①互いに助言しあい、アドバイスをしあいながら学習に取り組もうとする。

＜思考・判断＞

②テーマからイメージを膨らませることができる。

＜技能＞

③イメージを動きに結びつけ、感じを込めて動くことができる。

### (2) 学習内容と具体的な判断規準・支援

学習内容	評価規準	具体の評価規準		規準の内容を実現していない生徒への対応・手立て
		十分満足できる状況	概ね満足できる状況	
・グループで協力して創作活動を行う。	①互いに助言しあい、アドバイスをしあいながら学習に取り組もうとする。	・仲間と具体的で適切なアドバイスができ方向性を見だし雰囲気良く活動できる。	・仲間の良い点を指摘できる。	・自分の思い通りに動く事が良いことを助言し、仲間にリードされながら活動できるよう導いていく。
	②テーマからイメージを膨らませることができる。	・発想が具体的でイメージをたくさん出すことができる。	・イメージを出すことができる。	・体験から発想を引き出し、イメージを引き出させる。
・各グループで練習した動きを発表する。	③イメージを動きに結びつけ、感じを込めて動くことができる。	・イメージしたものに入り込み感情を込め効果的に動いている。	・感情を込めて動いている。	・大きな動きを体感させ、人に伝えるための動きを助言する。

(3) 本時の展開

	学習過程と5つの視点	学習内容及び学習活動	○ 具体的評価規準 * 対応・手立て
導入 15分	1 挨拶、健康観察	1 集合し元気よく挨拶する。体調不良などで見学の生徒へ指示を行う	* 自他の健康に留意させ、健康、安全に対する意識を高めさせる。
	2 準備運動	2 リズムに乗って全身を使い準備運動を行う。	* 心と体を開放し、リズムにのって準備運動を行わせる。
	3 課題確認 【②目的意識】	3 課題と課題解決のための練習方法を確認する。	
課題 「エネルギーッシュ」からイメージする動きを表現しよう			
展開 30分	4 創作活動 【④所属感・貢献感】	4 グループで協力して活動を行う。 ・イメージした動きやひらめいた動きなどをグループでだしあう。 ・連続した動きができるようにする。 ・テーマにふさわしい動きを創る。	○ イメージしたものを互いに出し合える雰囲気を取り組むよう支援する。 * 技術面・情意面でのアドバイスをしながらより、イメージに近づけさせる。 評価①②
	5 創作発表	5 各グループで練習した動きを発表する。 ・相互評価をさせ、互いの発表から学ぶ。	○ イメージした動きが体全体で表現できるような発表になるよう指導する 評価③
終末 5分	6 まとめ 【⑤進歩感・成就感】	6 学習課題の反省を行う。	自己評価カード 評価①②③
	7 整理運動	7 整理運動を十分行わせ、けが人等がないか確認する。	グループ
	8 次時の予告	8 次時の見通しを持つ。	
	9 挨拶・用具の片付け	9 元気よく挨拶をし、用具の片づけを協力して行う。	